

葉山町子育て支援センター ぽけっと 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色1493-1 TEL: 046-876-4152

新年度が始まり約一ヶ月で『GW』というのは、じつにいいタイミングだとつくづく思います。大人も子どももそれぞれの生活の中で何かしらの変化をうけ、張っていた心をこの連休でゆっくり休めてリフレッシュ。英気を養って、さあまたがんばろう！という気持ちになりますね。ぽけっとに遊びにいらっしゃるお友だちも世代交代して、また小さなお友だちもたくさん増えました。新しい出会いはいつもドキドキ♥そして喜びを感じています。

さて、今回は保育園の4月の様子を少し…。4月には、新入園の慣れない子たちがママと離れて泣くのは当然のことながら、そうでない子たちまでもが少し不安定になったり、先生を求める気持ちが強くなったりと、てんやわんやの一ヶ月。保育現場ではこの時期の習わしとは知るものの、おんぶに抱っことはまさにこのこと!?もう十分慣れている子までもが『抱っこ、抱っこ』になるのは、赤ちゃん返りのようなものだと思いますが、抱っこは、まず安心を感じる手取り早い方法なのでしょう。では、荷物を持つように抱いても同じかといえば、やはりそこに気持ちがあるかどうかはしっかり伝わります。またそこで「あなたはもう抱っこしなくても大丈夫」というのは、不安や不満を強くしてしまうようです。できるだけしっかりと応えてあげると、そのうちに抱っこより楽しくて心が満たされることを見つげ出すもの。

それは、保育園だけではなく、親子の間でも同じですね。ある時期「なんだか最近よくグズグズするな」とか「よく歩いていたのに、また抱っこ抱っこで…」など、逆戻りしたようにみえることがあります。その渦中にいるときはなかなか気づかないものですが、振り返ってみると、その後にくんと成長したことに気づくことが多いものです。階段の踊り場で一休み、足場を確認してから次の段を登り始める…そんな感じでしょうか。

抱っこは子どもが安心するスキンシップのひとつです。温もりや気持ちが伝われば、他の方法で十分に満たされるようになり、必ずステップアップできるはず。そして「抱っこ」をしたら、お母さんも保育をする方たちも、「抱っこ」をされている実感を、ぜひ感じてみてください♥

センター長 山浦彩子(やまうら あやこ)

6月のメニュー

♪いいこといいこと♪

- 「ふれあい遊び」毎日 11:00-11:30
- 〈第2第4水曜〉えいごで遊ぼう (松本ようこ先生)
- 〈第2第4木曜〉おやこダンス (近ゆきこ先生)
- 〈第3火〉マニスお話し会 (丸山さちこ先生)
- 〈第3金 pm13:30〜〉バイオリンと触れ合おう (山寺ゆか先生)
- ◆「0歳児つどいの広場」毎週木曜 10:00-11:00

6月の開館時間

◆開館時間 9:00-17:00

※広場の開放時間は15:00迄、子育て相談・一時預かり・ファミサポ・2F多目的室のご利用は17:00迄です

◆休館日 日曜・月曜・祝日

◆職員研修 6/15(土)

※広場・一時預かりのご利用は13:00迄になります



♪予告♪

♡ ようちえん特集 ♡

ことしも6月末発行に向けて編集作業をはじめました！もうすぐお待ちください♪

〈掲載する幼稚園・保育園〉

- あおぞら幼稚園☆あけの星幼稚園☆
- ヴァントル7子どもうみのこびと☆かぐのみ幼稚園☆
- 聖マリア幼稚園☆相武幼稚園☆どれみ幼稚園☆
- 御園幼稚園☆明照幼稚園☆横須賀シュタイナーこども園☆
- 若葉幼稚園☆おうちえんTelacoya921☆
- 森のようちえん葉山もりのわ

- 町立葉山保育園◇葉山にこにこ保育園◇風の子保育園◇
- おひさま保育園◇ごかんのいえ

ご意見ご要望など大歓迎です！お気軽に担当までお知らせください。

〈担当〉うえの&いそむら



一時預かり
ぷちのお部屋から

ぷち卒業生はデキる？

一時預かりが始まって5年。ぷちを巣立ったお子さんも増えてきました。“卒業生”のひとり、Aちゃんは幼稚園の年中さん。2歳のときから約1年半通った女の子です。いまでもぽけっとのことはよく覚えていて、ときどき遊びに来てくれます。広場で慣れた様子でおままごとをするAちゃんを眺めながら、「幼稚園でお友だちに『どうど』ができるんです。できないお子さんが多いのに…ぷちで預かっていただけて集団の中でしつ付けていただいたからだと思います」とお母さん。ぷちを褒めていただけてうれしかったのですが、集団でがまんしたからという印象をもっているのかもしれないと、私は少し困ってしまいました。「ぷちはお子さんにとってお母さんから離れて初めての社会になります。お母さん以外の人にたくさん受け入れられて可愛がられる安心感をもっていたいだきたいので、しつづけ意識し過ぎないようにしています。Aちゃんにもそれが伝わって人への信頼感をもてたのでは…？」とお答えすると、「がまんしたからではないのですか？」と、納得できない様子。「そうですね。できないことをやってみることはもちろんありますが、それはフレッシュをあたえてがんばらせることは違います。いっしょにやってみよう！できなくても大丈夫という雰囲気のおかげで、お子さんのペースでできるようになることがたいせつ、自信につながります。『どうど』ができるAちゃんはきっと自信がついたのですね…」言いながら、その成長ぶりを確認できて、こんどはほんとうにうれしくなりました♪



◆ 上野 祐子 (うえの ゆうこ=ゆうこ先生) 副センター長&心理相談担当 ◆

ぽけっと

「うららかな春、風のないお天気の良い日には、ぽけっとのお庭のハーブや草花を集めてミニブーケ作りを親子で楽しんでいます〜。その日のお庭の様子やお花の咲き具合を観ながら...の『サプライズ開催』ではありますが、ひろばに遊びに来られたお母様方とおしゃべりを楽しみながら、癒しのひとときを過ごしています。ぽけっとのお庭では色鮮やかなピンクのシランやナデシコ、淡いブルーや白のニゲラ...そして薄紫のラベンダー等の花々や、爽やかな香りのレモンバーベナやカラミンサ、スペアミントにローズマリー、葉っぱの形が個性的なルーe.t.c.フレッシュな香りも楽しめるグリーンハーブも育てています。花遊びの日は...毎回それぞれの植物を収穫〜お水を入れた小瓶に種類別に生けて....お庭やランダにテーブルを出して、色とりどりのお花やグリーンを並べていきます...そしてぽけっとオリジナルの『お花屋さん』の出来上がり。お花あそび開催曜日は不定期ですが、主に火または水曜日と土曜日の11時半〜12時半迄と花材があれば午後も2時〜3時迄開催しています。(事前申し込みなし、無料)私は保育士でありつつも園芸家でもありますので(園芸オタク?)花談義は大好き♡お母様方とついついお話が弾んでしまっていて...距離が近づいた感じがしてとっても嬉しい♡ガーデニングに関する様々な質問も大歓迎です!

ぽけっと 園芸活動

「花あそび」開催中!

サプライズで
随時やってます!

ぽけっとのお庭にあるお花やハーブ

2〜3歳のお子さんもお母様とお花遊びを楽しんでいます!

何より嬉しいのはブーケを作っている時の皆さんのとっても優しい笑顔!



〈園芸おぼれ話〉
ちなみに...イギリスでは中世の時代、ハーブとお花でつくる「香りの花束」を「キャーディー」と呼ぶ庭師の花束として身を守る特別なものとしていました。また、花束を組み合わせたブーケでメッセージを伝えるなどの習慣があったようです。植物ってほんとに深いものですね... by ひゅー

◆ 園芸活動担当 淵本 明美 (ひちもと あけみ=ひゅっ-先生) ◆

子のこころ 親のこころ ~子育てをこころの発達から考える~

“やりたい気持ち”を満たすことがレベルアップに!?

お子さんが「寝てくれない」「食べてくれない」とお母さんはよく心配されますが、人は眠ること食べることのどちらが欠けても生きてはいけません。生きているかぎり本能のまま「ねむい」「おなかがすいた」と感じて自然にできるはず...それなのに多くのお母さんの悩みの種になるのはなぜでしょうか。心理学者A・マズローは、人間が生きようとして抱く欲求を、強く感じる順に5段階に分類しました。①生理的欲求：睡眠欲や食欲、性欲など人間が生存維持のため本能的にもっとも強く感じる欲求 ②安全の欲求：安定した生活を得ようとする欲求 ③所属&愛情の欲求：集団に属したい、愛されたいという欲求 ④社会的承認の欲求：自分が他から価値ある存在と認められたい欲求 ⑤自己実現の欲求：自分の能力を發揮して想いを実現させたいという欲求...彼の説によれば、①の生理的欲求が満たされると②→③→④→⑤の順でより高次元の社会的欲求を感じられるようになって、人はレベルアップ(成長)していくものだといえます。

この法則は、じつは子育てに迷ったときにとっても参考になります。なぜなら、子どもは乳幼児の頃からこの5段階のレベルを「行いたい来たい」して成長しているから...「いまどのレベルにいるか?」と確認すると、客観的に子どもの気持ちを量ることが出来ます。おっぱいを飲んでお腹がいっぱいになったら、おむつを替えてもらいたいという安定を求め、抱っこで愛情確認。それらが満たされてくると自己主張しているいろいろなことができるようになっていく。空腹で眠いときは最低レベルにいるとき...そんなときに「ちゃんとやってほしい」と望んでも無理です。遊び疲れてぽけっとから帰るとき、お子さんは大泣きになってしまいますね。やんちゃを言わずに帰ってほしいけれど、そうなる一歩手前に帰ろうとうなずくこと。お子さんも「できた」を経験できます。逆に、「寝てくれない」「食べてくれない」とお母さんが感じるときは、睡眠欲や食欲のレベルではなくもっと高いレベルの欲求を訴えているのでは?遊んでもらいたい、わかってもらいたい、自分の思うようにやりたい、ママの心配顔を見たくない...どれかにあてはまるはず。このレベルアップの法則がいつも頭にあると、我が子が将来でっかい夢を抱いて叶えられるように、できるかぎりやりたい気持ち(欲求)を満たしてやろうと思えるようになります。

Q. 欲求をきいてばかりだとわがままになりませんか?



A. 純粋な欲求は満たされることでやる気につながります!

お母さんがわがままと感じるときは、むしろ欲求がスムーズに満たされていない時。衣食住がひととおり整っていれば、基本的な欲求は満たされているはず。そうすると「愛されたい」「認められたい」「自分でやりたい」といったステップアップした社会的欲求をもつようになります。基本的な欲求ではないので、お母さんにも伝わりにくい。うまく満たされないことが起こりがちに...お子さんは不安になりお母さんを困らせる行動をとってしまいます。そういう目でもう一度お子さんの行動を見直してみると、いままで理解できなかった子どものころが見えてきます。親があたりまえに心配することも、認めてくれない...と伝わってしまう場合もあるのでややかしいですね!



マズローのピラミッド 欲求の5段階